

# 産業・組織心理学講座 全5巻

【企画】 産業・組織心理学会

【編集委員長】 金井篤子 名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授

【編集委員】 細田 聡 関東学院大学社会学部現代社会学科教授  
 岡田昌毅 筑波大学大学院人間総合科学研究科教授  
 申 紅仙 常磐大学人間科学部心理学科教授  
 小野公一 亜細亜大学経営学部経済学科教授  
 角山 剛 東京未来大学学長・モチベーション行動科学部教授  
 芳賀 繁 株式会社社会安全研究所技術顧問、立教大学名誉教授  
 永野光郎 京都橘大学健康科学部心理学科教授

Japanese  
Association  
of  
Industrial/  
Organizational  
Psychology

## 〈注文・予約書〉

全国の書店、ネット書店にて、ご注文・ご予約いただけます。直接、当社へのお申し込みも承っております(送料300円が必要です)。ご予約(未刊行)でのご注文の場合、発刊後にお届けいたします。なお、書名・本体価格・頁数・発刊時期など変動がありますこと、予めご了承下さい。

産業・組織心理学講座 全5巻		注文数
書名		
第1巻 産業・組織心理学を学ぶ 心理職のためのエッセンシャルズ 2019年夏発行 A5判・280頁・本体2400円+税	金井篤子 [編集]	冊
第2巻 人を活かす心理学 仕事・職場の豊かな働き方を探る 2019年秋発行 A5判・240頁・本体3100円+税	小野公一 [編集]	冊
第3巻 組織行動の心理学 組織と人の相互作用を科学する 2019年秋発行 A5判・256頁・本体3100円+税	角山 剛 [編集]	冊
第4巻 よりよい仕事のための心理学 安全で効率的な作業と心身の健康 2019年秋発行 A5判・260頁・本体3100円+税	芳賀 繁 [編集]	冊
第5巻 消費者行動の心理学 消費者と企業のよりよい関係性 2019年秋発行 A5判・248頁・本体3100円+税	永野光朗 [編集]	冊

【お名前(団体名)】	取扱書店印
【ご住所】〒	
【お電話】 (            )            -	

## 〈お申し込み問い合わせ先〉

北大路書房 〒603-8303 京都府京都市北区紫野十二坊町12-8  
 電話：075-431-0361 FAX：075-431-9393 Email：eigy@kitaohji.com



公認心理師時代を見据え、  
 産業・組織の中で生きる人間の心理を探究するシリーズ全5巻

# 産業・組織心理学講座

全5巻

産業・組織心理学会  
 [企画]

今ここに設立35周年を迎え、産業・組織心理学を取り巻く心理学界の情勢をみるに、さかのぼること2015(平成27)年9月、心理学領域における初の国家資格として公認心理師が法制化されたことをあげることができよう。大学における公認心理師養成カリキュラムにおいて、産業・組織心理学は必須科目(実践心理学科目)と位置づけられたのである。…略…産業・組織心理学の位置づけが注目される昨今の情勢にかんがみ、設立35周年においては、産業・組織心理学のこれまでの知見を集約し、初学者(公認心理師資格取得希望者含む)から若手研究者、実務家のよりどころとなることを目的として、基礎(第1巻)から応用(第2巻～第5巻)までを網羅した本講座を刊行した。本講座が産業・組織心理学会の現時点における到達点を示し、今後を展望することができれば望外の喜びである。

(「産業・組織心理学会設立35周年記念講座 刊行の言葉」より)

- 第1巻 産業・組織心理学を学ぶ  
心理職のためのエッセンシャルズ 金井篤子 [編集]
- 第2巻 人を活かす心理学  
仕事・職場の豊かな働き方を探る 小野公一 [編集]
- 第3巻 組織行動の心理学  
組織と人の相互作用を科学する 角山 剛 [編集]
- 第4巻 よりよい仕事のための心理学  
安全で効率的な作業と心身の健康 芳賀 繁 [編集]
- 第5巻 消費者行動の心理学  
消費者と企業のよりよい関係性 永野光朗 [編集]

北大路書房



# 産業・組織心理学講座

全5巻

産業・組織心理学会 [企画]

各巻A5判・約240～280頁 本体価格：第1巻 2400円／第2～5巻 3100円

## 《本シリーズの特徴》

- ・基礎的知見から応用領域まで、「産業・組織心理学」を包括的に解説。初学者、研究者、実務家が知識を共有できるシリーズ構成。
- ・講座の基礎編にあたる第1巻では、産業・組織心理学の基礎的知見を整理。公認心理師養成カリキュラムにも対応する本書は、初学者、若手研究者、実務家にとって絶好のテキスト。
- ・講座の応用編にあたる第2～5巻では、産業・組織心理学の理論から各領域への適用までを扱う内容構成。産業・組織心理学研究と企業実践の架橋を試みた、現時点での到達点を示す専門書。
- ・第一線で活躍する研究者が執筆・編集。発展が期待される分野の研究成果を集約した本書は、今後の研究に多大な示唆を与える。

## 第1巻 産業・組織心理学を学ぶ

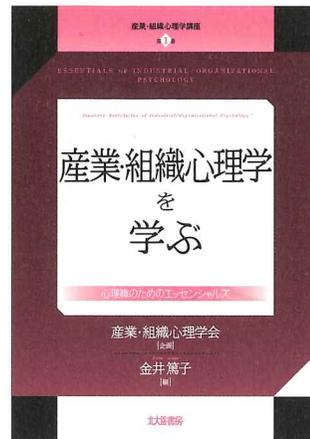
心理職のためのエッセンシャルズ

金井篤子 [編集]

産業・組織心理学の目的、歴史、社会的意義、研究方法などの基礎を解説、更には人事部門、組織行動部門、作業部門、消費者行動部門の4つの研究分野を概観し、その全体像を示す。公認心理師をはじめ、すべての心理職が習得すべき産業・組織心理学の知見を網羅した標準教科書。

### 【もくじ】

- |                      |                            |
|----------------------|----------------------------|
| 第1章 産業・組織心理学とは       | 第3部 働く人の安全と健康—作業部門         |
| 第1部 人を活かす—人事部門       | 第10章 仕事の安全                 |
| 第2章 募集・採用と評価・処遇      | 第11章 仕事の疲労・ストレスと心身の健康      |
| 第3章 キャリア発達と能力開発      | 第12章 作業と職場をデザインする          |
| 第4章 人間関係管理と職場の人間関係   | 第4部 豊かな消費生活—消費者行動部門        |
| 第5章 働くことの意味と働かせ方     | 第13章 消費者行動への心理学的アプローチとその意義 |
| 第2部 組織行動を科学する—組織行動部門 | 第14章 消費者の購買意思決定            |
| 第6章 組織行動の心理学的視点      | 第15章 企業活動と消費者行動            |
| 第7章 リーダーシップ          |                            |
| 第8章 仕事へのモチベーション      |                            |
| 第9章 組織開発             |                            |



## 第2巻 人を活かす心理学

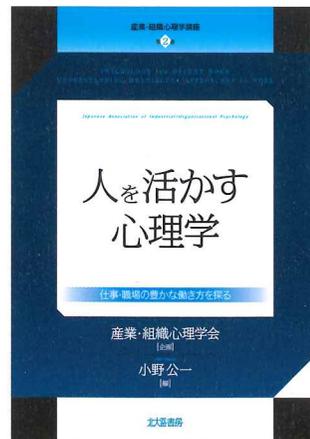
仕事・職場の豊かな働き方を探る

小野公一 [編集]

第2巻では、産業・組織心理学の領域のうち「人事部門」を扱う。人事心理学の歴史的展開や内容全般を俯瞰したうえで、企業経営の実践、とりわけ人的資源管理や人事管理、労務管理といわれる機能を詳説。研究者だけでなく、企業の人事部門の担当者や管理・監督者として働く人々の管理にあたる読者にも示唆を与える。

### 【もくじ】

- 第1章 人事心理学
- 第2章 募集・採用と処遇
- 第3章 雇用の多様化とワーク・ファミリー・コンフリクト
- 第4章 人事評価
- 第5章 人材開発とキャリア発達
- 第6章 職場の人間関係と人間関係管理
- 第7章 仕事の意味と快適な仕事：well-beingとディーセントワーク
- 第8章 人事心理学と法制度



## 第3巻 組織行動の心理学

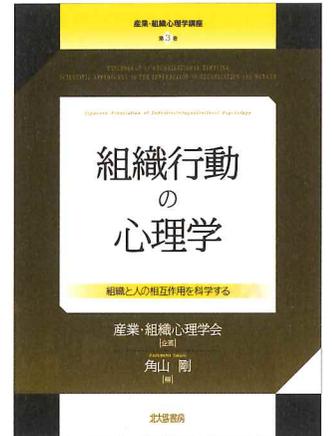
組織と人の相互作用を科学する

角山 剛 [編集]

第3巻では、産業・組織心理学の領域のうち「組織行動部門」を扱う。組織行動研究の位置づけや研究動向を概観したのち、「コミュニケーション」「意思決定」「リーダーシップ」といった重要テーマを取り上げ、その理論や周辺領域との関連性、今後の展開を解説。集団行動の知見を体系的にまとめ、組織開発の手掛かりを論じる。

### 【もくじ】

- 第1章 組織行動とは
- 第2章 職場集団のダイナミクス
- 第3章 コミュニケーションの促進
- 第4章 組織における意思決定
- 第5章 リーダーシップ
- 第6章 仕事へのモチベーション
- 第7章 人と組織の適応
- 第8章 組織開発・組織変革



## 第4巻 よりよい仕事のための心理学

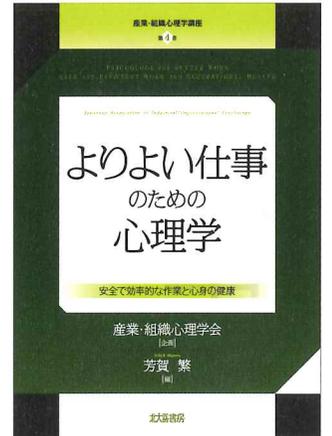
安全で効率的な作業と心身の健康

芳賀 繁 [編集]

第4巻では、産業・組織心理学の領域のうち「作業部門」を扱う。仕事を安全、快適、効率的に遂行するための条件や阻害する要因を探究することを見据え、作業方法や環境、メンタルヘルスなど様々な領域における理論モデルや実践的アプローチを紹介。作業部門領域を網羅する構成であり、気になる章から選択できる。

### 【もくじ】

- 第1章 技能の習熟と伝承—仕事に必要なわざの分析と訓練
- 第2章 人間工学—作業と環境と機器をデザインする
- 第3章 職場環境—働く人々を有害要因から守る
- 第4章 産業疲労—働く人の疲労、過労、眠気について
- 第5章 職場のメンタルヘルス—働く人の心の健康を守る
- 第6章 ヒューマンエラーと不安全行動—事故につながるエラーと違反
- 第7章 労働安全衛生—実践と研究の歴史と展望
- 第8章 安全マネジメント—安全を高める組織的取り組み



## 第5巻 消費者行動の心理学

消費者と企業のよりよい関係性

永野光朗 [編集]

第5巻では、産業・組織心理学の領域のうち「消費者行動部門」を扱う。心理学的特性が表れる消費行動について、人格心理学、社会心理学など心理学の研究成果を応用し、脳科学や経済学といった他分野の学問的知見も駆使しながら理論体系を示す。また企業の実践をもとに、社会に不利益を生じさせない企業—消費者間の関係性を追求する。

### 【もくじ】

- 第1章 消費者行動研究の意義と目的
- 第2章 消費者行動研究の方法論
- 第3章 消費者の購買意思決定過程
- 第4章 消費者への説得過程
- 第5章 消費者行動の規定要因1：個人差要因
- 第6章 消費者行動の規定要因2：状況要因
- 第7章 消費者行動の規定要因3：社会的影響
- 第8章 消費者問題と消費者保護
- 第9章 消費者行動の新展開1：消費者行動研究における行動経済学的アプローチと生体情報活用
- 第10章 消費者行動の新展開2：顧客エンゲージメント—企業と顧客との関係性における新たな視点

